

算数少人数数学級だより No. 8

H30. 12. 10

新神田小学校 算数少人数担当

遅くなりましたが11月前半の算数の学習について、子どもの様子、学習の成果と課題についてお知らせいたします。

【4年生】およその数の表し方を考えよう(がい数の表し方)・・・全8時間

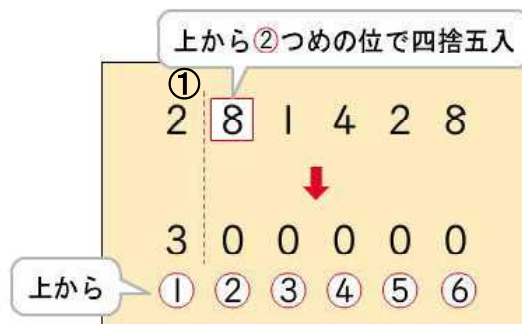
「つるぎコース」

がい数にするために、どの位を四捨五入するのかを、印を書かせることで位を間違えずにがい数で表すことができるようになりました。また、分からなくなったら数直線にもどって考えるよう指導することで理解が深まりました。



「はくたかコース」

「上から〇桁のがい数」はどこの位で四捨五入すればよいかよく理解できていました。切り上げでは、1を書き忘れて間違えることがありました。がい数の計算では、0がつくかけ算やわり算の仕方がなかなか定着しない子どもがいました。(3000 ÷ 200 = 15など)



「一万の位までのがい数にする」→ 千の位で四捨五入する
「上から1けたのがい数にする」→ 上から2つめの位で四捨五入する

「かがやきコース」

四捨五入してがい数にする問題はしっかりできていました。どこを四捨五入するかの足跡をきちんと残している子どもはミスが少なかったです。はくたかコース同様、0がつくかけ算やわり算の復習が必要だと感じました。

$$\begin{array}{r} 620 \times 39 \\ \downarrow \quad \downarrow \\ 600 \times 40 = \boxed{24000} \end{array}$$

※いずれのコースも学習内容がしっかりと定着するよ

う、冬休みワークの問題ができています。かどうかをご家庭で確認してあげてください。

【5年生】分数をもっと知ろう(分数のたし算とひき算)・・・全12時間

「クジラコース」

「約分」「通分」という新しい用語が出てくる中、どの子も粘り強く問題に取り組んでいました。仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数に直すことができている子どもが大変多かったです。しかし、通分する際、各分母を最小公倍数にする必要がありますが、既習を忘れて、分子をそのままにしてしまう間違いが見られました。また、最後に約分できることを確かめない児童もいました。通分する・約分する学習の復習に取り組んで確実な定着を図っていきたいです。

$$\frac{3}{4} = \frac{15}{20} \quad \frac{4}{5} = \frac{16}{20}$$

かおり

$\frac{18}{24}$ の分母をできるだけ小さく…。

$$\frac{18}{24} = \frac{3}{4}$$

「イルカコース」

問題を見て自分たちで課題を作り、意欲的に自分の考えを書く子どもがたくさんいました。各分母の最小公倍数で通分することはとてもよくできるようになりました。その結果、分数のたし算・ひき算がしっかりと定着しました。しかし、全体的に分母と分子の最大公約数で約分するという力がなかなか向上しませんでした。素数2・3・5・7・・・などでわれるかどうか確かめるように伝えました。分を時間に直すときは、○分＝○／60時間をすればよいことがよく理解できていました。

たくみ

$$2\frac{3}{4} - 1\frac{2}{3} = 2\frac{9}{12} - 1\frac{8}{12} = 1\frac{1}{12}$$